

住宅基礎・外構工事美装材

# BFコート

～健康的で安心な自然素材を絶妙にブレンドしたプレミックス材～

## 〔目 的〕

この施工マニュアルは「BFコート」の施工にあたり品質基準の維持と耐水性・耐久性を維持する為のものです。

## 〔用 途〕

住宅基礎の仕上げ及び外構工事の美装材。

## 〔特 長〕

- 1) 特殊エマルジョン・特殊長繊維・特殊混和材を組み合わせた半練りタイプの美装材です。
- 2) モルタルのクラックや雨水の吸い込みを抑制し防水性に優れています。
- 3) セメントは一切使用していない為、現場で残った材料も再度密閉する事により、次現場での再使用が可能でロスが少ない製品となっています。また柔軟性があり耐クラック性に優れ、モルタル特有の毛細管現象による吸水、白華もありません。

## 〔適 用 下 地〕

コンクリート、モルタル

※下地材としての強度がある事を確認して下さい。

## 〔使用材料〕

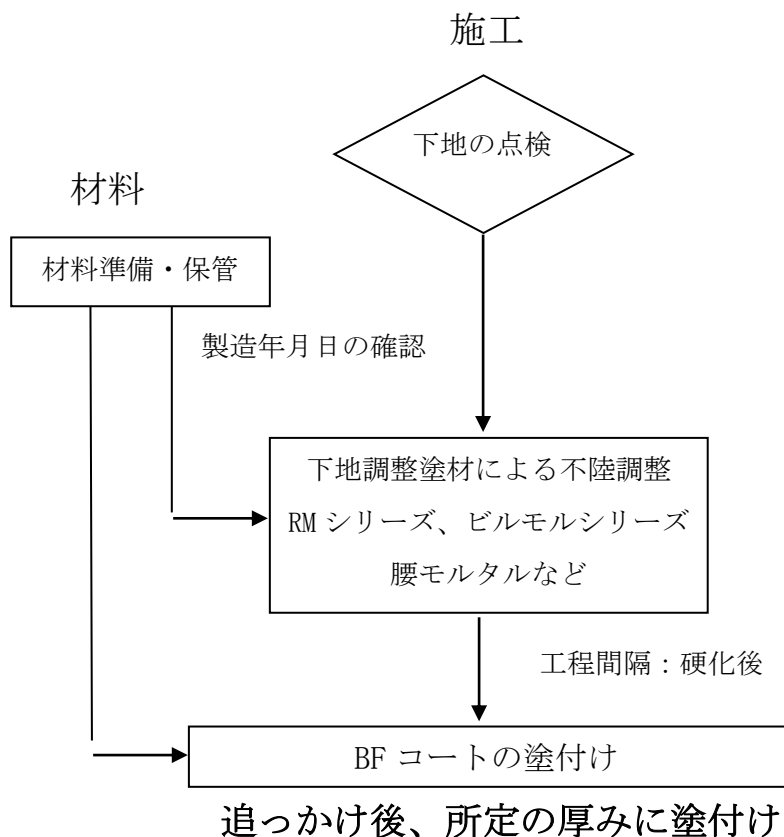
「BFコート」 (ダンボール箱セット入り)

16kg / (8kg×2袋) 箱

**施工面積：12～14㎡ (施工時1～1.5mm厚)**

各種カラーについてはカタログを参照して下さい。

## [施 工 工 程]



## [施 工 方 法]

### ① 下地の点検

- 1) 下地コンクリート・モルタルの脆弱部位、油分、離型剤、汚れ、付着物等はワイヤーブラシやサンダー掛け及び水洗い等を行い強靱な素地を出して下さい。
- 2) 下地の不陸をワイヤーブラシやサンダー掛けをして平滑な面を作して下さい。

### ② 不陸調整（補修）

- 1) ビルモルシリーズ、ロイヤルミックスシリーズ、腰モルタルなど不陸の状態により選定して補修して下さい。（製品施工要領書をご確認下さい。）

※不陸を調整しないと BF コート塗付け後、下地が出てしまう場合があります。

※プライマー処理で塗りムラがあると BF コート塗付け、乾燥後に色むらになります。

※薄塗材料の為、下地をしっかり平滑に作っておく事がポイントになります。

※水引が悪い下地の場合は乾燥が遅くなりますので注意してください。

### ③「BFコート」の塗付け

- 1) BFコート基礎・外構用は基本攪拌なしでビニール袋から適量取り出して施工して下さい。
- 2) はじめにBFコートを下地全面にしごき塗りを行って下さい。軽く塗り付けるといった感じではなく、コテに圧力をかけて下地にすり込むといった塗り方が必要です。  
※浮きや剥がれの原因となりますので『ガリッ』としごくように擦り込んで下さい。  
※下塗り施工時に完全な下塗りをした場合、施工面積が伸びないケースがあります。
- 3) しごき塗りを始めた箇所から所定の厚みを塗り付けて下さい。塗付け後、「BFコート」の縮まり具合を見計らい、木ゴテや金ゴテで不陸のない平坦な面に仕上げて下さい。又、繊維の塊が出た場合は除去して下さい。
- 4) 現場での再攪拌をする場合は、攪拌機の羽根に注意してください。(3枚プロペラタイプが好ましい) 缶切タイプの羽根の場合、繊維がダマになるケースがあります。

※しごき塗りが乾燥していてもOKです。

※コテ波が出た場合は霧吹き等で水を噴霧し、コテ波を消して下さい。

※色むらが出た場合は乾燥後、BFコートを再度上から塗り付けて下さい。

※樹脂ペーストなので道具関係の手入れに注意して下さい。

### ④ 養生

- 1) 施工後は雨掛かりや塵を無くす為、シート掛け養生などの適切な防止策をして下さい。
- 2) 施工後、すぐに雨に打たれると表面が流れてしまう事があります。

## 使用上の注意事項

本品は厳重な品質管理のもと、工場にて製造された既調合品です。

「使用上の注意事項」及び「取扱い時の安全対策（概要）」を確認の上、安全対策には十分留意してご使用下さい。

1. 既調合品の為、指定材料以外のものを練り混ぜないで下さい。なお、練混ぜには水道水等の上水道水を使用して下さい。
2. 練混ぜた材料は1時間以内に使用して下さい。練り足しや加水して練り戻しをしないで下さい。
3. 強風や直射日光等による急激な乾燥を防止するため、シート養生等適切な措置をして下さい。
4. 本品使用時の施工は、気温が5℃～35℃の範囲内で行ってください。
5. 製品の製造年月日を確認し、製造から6カ月以上経過した製品は使用しないで下さい。また、開封した製品はできるだけ早く使用して下さい。
6. 下地コンクリートが、JASS 5（鉄筋コンクリート工事）の標準を満たしていない場合は施工を避けて下さい。
7. 悪天候（降雨、降雪等）、またその恐れがある場合は施工を避けて下さい。

## 取扱い時の安全対策（概要）

### ・ 取扱い及び保管上の注意

1. 目や皮膚等に触れないように適切な保護具（保護手袋、防塵マスク、保護メガネ等）を着用して取り扱って下さい。また、取扱い後は顔、手、口等を水で洗浄して下さい。
2. 製品の保管は、セメント同様の取り扱いとし、雨露のかからない屋内の湿気の少ない場所に、床面から離して保管して下さい。

### ・ 応急処置

#### 〔目に入った場合〕

直ちに清浄な水で最低15分間洗浄し、速やかに専門医の治療を受けて下さい。

#### 〔皮膚に付着した場合〕

速やかに水または温水で十分に洗い流して下さい。肌荒れがひどい場合は、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

**〔吸引した場合〕**

速やかに新鮮な空気のある場所へ移動し、水または温水でうがいを行って安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

**〔飲み込んだ場合〕**

水でよく口の中を洗う等して、直ちに医師の診断を受けて下さい。

**・ 濾出時の注意**

飛散した粉末は掃除機で吸い取って回収するか、ホウキやスコップで集め空袋等に回収して下さい。

**・ 廃棄上の注意**

廃棄する製品や練混ぜ材等は硬化させてから、産業廃棄物として適切な処置をして下さい。また、洗浄水等の排出は水質汚濁防止法等に注意して下さい。

**・ 輸送上の注意**

破袋、荷崩れ、落下等の防止策を確実に行って下さい。また、降雨時の湿気や水漏れに注意して下さい。

※本マニュアルの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。

プレミックスの開発メーカー



株式会社 **豊 運**



本 社 〒546-0003  
大阪市東住吉区今川 3 丁目 12 番 4 号  
TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133  
URL:<http://www.ho-un.co.jp/>

東日本営業部 TEL 0247-54-3232 FAX 0247-24-1004

西日本営業部 TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133

改訂 2018/06 第 2 版